

リア・フォルモザ (Ria Formosa) と湿地帯 (Sapal) (カストロ・マリムおよびヴィラ・レアル・デ・サント・アントニオ内)

について



写真: Turismo de Portugal

リア・フォルモザ (Ria Formosa) と湿地帯 (Sapal) (カストロ・マリムおよびヴィラ・レアル・デ・サント・アントニオ内)
リア・フォルモザ (Ria Formosa) は、アルガルヴェで最も重要な野生生物の聖地です。そしてカストロ・マリム (Castro Marim) とヴィラ・レアル・デ・サント・アントニオ (Vila Real de Santo António) 湿地帯 – グアディアナ川 (Rio de Guadiana) 湿地帯 – は、徒歩やボートで訪れることのできる2つの保護区です。いずれも、いつまでも思い出に残る旅となるでしょう！

観光を始めるための最もよい方法は、よく知っている人と話しをすることです。関連する**環境教育センター**では、そこで見られる種に関する情報と、自然に配慮しながら景観を十分に楽しむための歩道に関する情報をお伝えします。また、これらの水路の迷路を楽しむための要素もたくさんあります。青い水と調和し、塩田の白と対照をなす緑の植生から、フラミンゴの羽のピンクの色合いまで、夢の写真を撮るための口実が豊富にあります。シャッターを切らずにはいられなくなります！

リア・フォルモザ (Ria Formosa)

を海から隔離している砂の長い帯には、美しく、ほとんどひと気のないビーチがあります。一方、アンカオン (Ancão) 半島とマンタ・ロタ・ビーチ (Praia da Manta Rota) の間に60km以上広がるこの自然公園には約1500種の生物が集まっています。派手な羽を持つバンやカワセミ、通過する場所の色を取り込むカメレオン、好色でぼやけたポルトガルのウォータードッグは、常連の生物のほんの一例に過ぎません。

また、この保護された動植物のオアシスには、主な地域活動の1つを育成し、レザー・クラム・ライス、オイスター、イシガイなど、舌鼓を打たせる**美食**の逸品を提供するさまざまな軟体動物も生息しています。この地区とその規模をきちんと見ようと思えば、一見の価値があるアラブを源とする村、**カセラ・ヴェーリャ (Cacela Velha)** の砦など、高所に足を運ぶ必要があります。

東には、**カストロ・マリム (Castro Marim)** と、この国で作られた最初の自然保護区、**ヴィラ・レアル・デ・サント・アントニオ (Vila Real de Santo António)** 湿地帯 (Sapal) が見えます。この塩田区、牧草地、湿地帯は、2つの町によって分かれており、グアディアナ川 (Rio de Guadiana) に沿って延びています。

ハイキング道に加え、カストロ・マリム (Castro Marim)

城からもこの地域を一望できます。またはボートでもっとのんびりとこの地域を知ることができます。岸边では、蛙やヒキガエル、イモリ、砂トカゲなどが見られます。また上空では、コウノトリ、黒い羽のセイタカシギ、鷺が水平線を飛び交い、よそ見ができないほどです。農場の乾燥した区域もあります。そこでは禾穀類やアーモンドの木、イチジクの木、カロブ豆の木、オリーブの木などが育っています。きらめく自然の広がりの中は、見るべきもので一杯です。

絶対のお勧め

- > どこからでもさえずりが聞こえるさまざまな鳥を見つける
- > リア・フォルモザ自然公園 (Parque Natural da Ria Formosa) の象徴である絶滅危惧種、パンの紺青色の羽を賞賛する
- > ポルトガル原産の血統種、ウォータードッグが育てられている犬小屋を見学
- > 8月にファロ (Faro) とオリャン (Olhão) で開かれる魚介類フェスティバルに行く
- > カストリ・マリム湿地帯 (Sapal de Castro Marim) の塩田の真ん中を通る小道でサイクリングやウォーキングを楽しみ、塩がどのように抽出されるかを見る